

令和7年度 第1回 宮崎県総合教育会議 議事概要

1 日時

令和8年2月4日（水） 午前10時から午前11時まで

2 場所

宮崎県庁 本館 講堂

3 出席者

宮崎県知事 河野俊嗣

教育長 吉村達也

教育委員 松山郁子、木村志保、柳和枝、松山竜也（森山委員は欠席）

4 議題

これからの時代に求められる高校教育とは

5 議事

（1）資料説明（関係各課）

- ・ 15歳年齢人口の将来予測及び県立高校の現状
- ・ 私立高校の現状
- ・ 県立高等学校教育整備基本方針について

（2）意見交換 ※詳細は議事録を参照。

〈求められる高校教育について〉

- ・ 単なる知識の習得にとどまらず、社会で実践的に生き抜く力を身につけることが必要。
- ・ 公立、私立問わず、学校の特色や魅力を磨き上げ、アピールするべき。
- ・ 専門的な学びや就労への取組の見える化を進めていくべき。
- ・ 山間部は学校が少なく、地域の核としての学校のあり方を検討するべき。

〈定員、公私のあり方〉

- ・ 定員の未充足が続いている学校は、魅力化という点で早急な見直し、再編を検討していく必要がある。
- ・ 公立、私立の役割、定員のあり方について今後積極的に意見交換と連携を深め、県全体で多様な学びの機会を確保する必要がある。

〈今後の方向性〉

- ・ 公私の役割分担や公立の魅力を高めていくためにどうしたらいいかを今後考えていくことになる。
- ・ 一つ一つの課題を公私一緒になって取組みながら議論する必要がある。公立私立それぞれの役割、特色をどう生かしていくのか考えていかなければならない。

6 事務連絡（教職員課）

県立学校教職員の「業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定に向けて

7 閉会